

## 事務事業評価調書

担当課	総務部	八坂支所	総務係	事務事業No.	121115	
事務事業名	八坂地域振興事業					
会計	一般会計	款	2	項	1	
		目	11			
総合計画	まちづくりのテーマ	第5節 市民の参画と協働でつくるまち			前期計画登載頁	93
	施策目標	市民の参画・協働と市民の視点に立った市政の推進				
	施策項目	過疎地域での地域づくりの推進				
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画				16~18	頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の自主的、主体的な地域づくり活動への支援</li> <li>八坂地区で生活する住民及び、八坂地区に活動拠点のある団体</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>定住人口が減少し、少子高齢化が急速に進むなか、住民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域活力の持続性を高め、活気と魅力あふれる地域づくりを推進する。</li> </ul>			
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり委員会、地域づくり協議会を開催し、地域内の振興策や諸問題への対応を検討する。</li> <li>地域振興バスを運行し、ふれあいバス路線区域外の交通弱者の足の確保を図る。また、診療所の送迎診療、たけのこ保育園の通園バスを運行し、施設利用者の利便性の向上と交通弱者の足の確保を図る。</li> <li>地域づくり協議会、八坂音頭保存会等へ補助金を交付し、地域振興と特色ある地域活動団体の支援を行う。</li> </ul>					

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	総事業費（決算額）		11,857,556	円	12,896,212	円	9,834,517	円
財源内訳	特定財源		6,000,000	円	1,000,000	円	1,000,000	円
	一般財源		5,857,556	円	11,896,212	円	8,834,517	円

  

活動指標	指標名	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
			実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	地域振興バスの運行	日	290	293	243	243	100.0%	242
②	送迎診療の実施	日	70	70	55	70	78.6%	70
③	道路愛護事業延長	km	75	75	74	75	98.2%	74

  

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値
①	地域振興バス利用者数	人	1,556	1,703	1,172	1,500	78.1%	1,200
	送迎診療の利用者数	人	476	468	302	350	86.3%	300
	道路愛護事業参加者	人	1,152	1,151	1,096	1,150	95.3%	1,100
2. 数値で表せない効果 (指標①)								

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化			
		評価	高い	高い	高い	重複なし	普通			
点数	3	3	3	3	2	3	18			
評価理由		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域づくり協議会の活動を支援することにより、行政に依存することなく、自主的・主体的に地域の課題解決と地域振興活動を推進することができている。</li> <li>地域振興バスを運行することにより、高齢者等の交通弱者の足の確保が図られ、住み慣れた地域で安心して暮らすことができている。</li> <li>送迎診療バス、保育園送迎バスの運行により、施設利用者の利便性の向上と交通弱者の足の確保が図られている。</li> </ul>								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
<p>少子高齢化が進むなかで、限界集落と言われる地域コミュニティが成り立たない地区が出始めている。このため、自治会役員などの担い手確保に困難な状況があり、自治会組織の見直しや再編などが課題となっている。また、今まで地域で実施してきた道路の草刈り等の活動が高齢化によりできない地区も出始めているので、作業範囲等の見直しが必要である。</p>
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
<p>八坂地区在住の16歳以上のすべての人を対象とした「住民意識アンケート」を実施し、地域の実情や課題等を掘り起こすとともに、地域が必要とする地域振興策を調査する。調査結果については地域づくり委員会において内容を精査し、行政に施策として実施していただきたい事項は市へ提言していく。また、自治振興会長会議を中心に、アンケート調査結果を基礎資料とし、自治会組織のスリム化や地区組織の再編について検討を進めるとともに、今まで集落ごとに実施していた活動について、ボランティア団体とも協力して周辺地域全体でカバーしながら活動を行える体制づくりを検討する。</p>

## 事務事業評価調書

担当課	総務部	八坂支所	総務・産業建設係	事務事業No.	121118
事務事業名	八坂定住促進事業				
会計	一般会計		款	2	項
				1	目
					11
総合計画	まちづくりのテーマ 第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	60
	施策目標 移住・定住促進策等の充実強化				
	施策項目 過疎地域における移住・定住促進				
個別計画	大町市過疎地域自立促進計画				頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）	
	定住人口が減少し、少子高齢化が急激に進む中、拠点集落に1・Uターン者等の定住を促進させるための定住促進住宅の整備を行う。また、地域に点在する空き家を有効活用し、移住希望者に紹介するとともに、入居した世帯に奨励金を交付する。			地域に密着した定住促進対策を進め、地域活力の維持と継続を図る。	
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度 住宅建設3棟（切久保2・矢下1）</li> <li>・平成27年度 住宅建設2棟（野平）</li> <li>・平成28年度 住宅建設2棟（野平）</li> <li>・平成29年度 住宅建設2棟（矢下）</li> <li>・令和2年度 住宅建設2棟（栢沢）</li> <li>・移住者との交流会</li> <li>・過疎地域定住促進奨励金、過疎地域住宅新築資金等利子補給金、過疎地域就職促進奨励金等の交付</li> </ul>				

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		円		11,301,812		円		
財源内訳	特定財源		円		8,000,000		円		
	一般財源		円		3,301,812		円		
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	定住促進住宅	戸	25	25	27	27	100.0%	27
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	入居世帯増	世帯	-	-	1	1	100.0%	1
	②	入居者増数	人	-	-	2	2	100.0%	2
2. 数値で表せない効果		（指標①）移住者の自治会活動などへの参加により、集落機能の維持や活性化につながる。							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	評価点合計
		事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化		
	評価	高い	高い	高い	重複なし	普通	適正である		
点数	3	3	3	3	2	3	18		
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未入居者がある既存住宅については、定住促進係等との連携による入居者確保に努めている。</li> <li>・新たに建設した住宅についても、定住促進係との連携によるオンラインセミナー等を通して、前年度である宅地造成工工期から広報活動を行ったことにより、予定どおりの時期に入居者の確保ができた。</li> </ul>								

### 【具体的な課題と改善】

<b>事業に対する課題について（目的に対する現状など）</b>
<p>入居者不在の住宅における入居者の確保については、定住促進係等との連携による取り組みを引き続き進める。また、既存住宅からの退去があることについては、恒久的な定住につながるよう、課題やニーズの把握に努めた定住促進策を検討する必要がある。また、地域に点在する空き家の多くが持ち主の理解が得られない物件であるため、有効活用できていない。</p>
<b>改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）</b>
<p>入居者が恒久的に定住するよう、移住者との意見交換会の実施を行い課題の把握等につとめるとともに、今後の定住促進住宅のあり方については、引き続き八坂地域づくり協議会や自治振興会と連携して、地域の要望等を伺うとともに、空き家対策として、地域に点在する持ち主の理解が得られない物件について、八坂地域づくり協議会や自治振興会と連携して粘り強く交渉を進めていく。</p>

## 事務事業評価調書

担当課	総務部	八坂支所	産業建設係	事務事業No.	121119		
事務事業名	明日香荘管理運営費						
会計	一般会計		款 2	項 1	目 11		
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画掲載頁	56	頁
	施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					
	施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進					
個別計画						頁	
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康増進に資するための保養施設及び、観光施設として、地域間交流の促進、観光の振興を行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>地元の郷土食であるそば、おやきの製造販売をととした郷土文化の維持を図り、地域の活性化に結びつけたい。</li> <li>地域の拠り所として、地域住民にあいされる施設管理を推進する。</li> </ul>			
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設及び設備等の修繕については、公共施設総合管理計画に基づき、指定管理と協議をしながら計画的に行うとともに、施設の適正な管理運営を行う。</li> </ul>						

### 【事務事業の実績】

事業費	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度					
	総事業費（決算額）	16,009,696	円	15,003,280	円	12,427,954	円		
	財源内訳	特定財源	円	円	円				
		一般財源	16,009,696	円	15,003,280	円	12,427,954	円	
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	イベント等開催	回	8	11	4	8	50.0%	10
	②								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	目標値	(%)	目標値	
	①	利用者数	人	28,816	28,779	22,099	30,000	73.7%	30,000
	②								
	③								
2. 数値で表せない効果		（指標①）指定管理者と協議し、施設及び設備等の改修を行い、施設利用者の利便性を図るとともに、誘客に努めていた。							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				
	評価	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である			
	点数	3	3	2	3	2	3		18	
評価理由	施設や備品の経年劣化が進んでいるが、指定管理者との協議を行い、適切な維持管理による設備の長寿命化と、緊急性の高いものから計画的な整備改修を行っている。新型コロナウイルス感染症の感染対策については、業種マニュアル等に従い、利用者や従業員の安全対策を図っている。また、臨時休館中も従業員の継続雇用にも配慮していた。臨時休館中は、早期の開館を望む地元の声が聞かれ、施設の必要性の高さが伺えた。									

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
施設の経年劣化が進み、突発的な緊急修繕が多く対応に苦慮している。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設運営に大変苦慮した。
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
定期的な施設巡回や指定管理者との連携により、計画的な施設維持管理を行う。新型コロナウイルス感染症の対策について、指定管理者との意見交換を行い、感染防止対策を万全にした公共施設としての適正な施設運営を行う。明日香荘連絡協議会を1回しか開催できなかったことから、次年度は、指定管理者と地元住民との意見交換を行う機会を増やし、地元住民の意見を施設の運営管理に反映させたい。

## 事務事業評価調書

担当課	総務部	八坂支所	産業建設係	事務事業No.	171310		
事務事業名	八坂観光施設管理費						
会計	一般会計		款	7	項		
				1	目		
					3		
総合計画	まちづくりのテーマ	第2節 活力あふれる産業と地域の魅力を活かしたにぎわいのあるまち			前期計画登載頁	56	頁
	施策目標	観光を主体に国内外からひとを呼び込む交流の促進					
	施策項目	“welcome おおまち” 魅力ある観光地づくりの推進					
個別計画							頁
事務事業の目的	対象（誰を・何を）			意図（どういう状態にしたいのか）			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康増進及び、地域以外の多数の方が利用する観光事業の振興を図る。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>地域間交流や観光の振興を通して、地域の活性化を図る。</li> <li>体験事業を通して、そば打ちや灰焼きおやき等地区固有の伝統文化の継承を行う。</li> </ul>			
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>八坂地区の観光施設は指定管理施設をはじめ、公衆トイレ等の施設があり、施設や設備の経年劣化が進んでいるが、公共施設等総合管理計画に基づき、計画的な整備改修を行い機能維持を図り、利用者が安全かつ快適に利用できるよう管理運営を行う。</li> <li>鷹狩山展望施設、ふるさと体験館、さざなみについては、指定管理者制度を導入し、民間活力による効率的な運営を行う。</li> </ul>						

### 【事務事業の実績】

事業費	年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
	総事業費（決算額）		6,493,750 円		5,694,066 円		5,496,508 円		
	財源内訳	特定財源	345,070 円		128,994 円		60,523 円		
		一般財源	6,148,680 円		5,565,072 円		5,435,985 円		
活動指標			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	展望施設イベント開催	回	3	3	1	8	12.5%	8
	②	体験館イベント開催	回	2	2	0	3		3
③	さざなみイベント開催	回	2	2	1	4	25.0%	4	
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度	達成率	次年度（R3）	
	指標名		実績値	実績値	実績値	目標値	（%）	目標値	
	①	展望施設利用者数	人	5,877	5,493	3,927	6,000	65.5%	6,000
	②	体験館利用者数	人	4,545	3,650	70	5,000	1.4%	5,000
③	さざなみ利用者数	人	29,981	25,627	16,028	30,000	53.4%	30,000	
2. 数値で表せない効果		（指標①）指定管理者や施設管理受託者と協議し、施設及び設備等の改修を行い、施設利用者の利便性を図るとともに、誘客に努めた。							

### 【事業の評価】

評価	項目	必要性		有効性		効率性		今後の方向性	方向性	評価点合計		
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化				継続	16
	点数	高い	高い	普通	重複なし	普通	適正である					
評価理由	施設利用者の利便性を図るために、重要度と緊急性を考慮した施設修繕を実施している。新型コロナウイルス感染症の感染対策については、業種毎の対応に従い利用者や従業員の安全対策を図っている。											

### 【具体的な課題と改善】

事業に対する課題について（目的に対する現状など）
<p>各施設経年劣化が進み、突発的な緊急修繕が多く対応に苦慮している。本年度は各施設、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設運営に大変苦慮した。体験館については、自主事業である食堂・宴会はイベント時のみの営業と計画していたが、実施できず利用者の大幅減となった。</p>
改善の方法等（上記の課題をふまえて次年度以降に実施する具体的な改善の内容）
<p>各施設、定期的な施設巡回や施設管理者との連携を図りながら、計画的な維持管理を行う。新型コロナウイルス感染症の対策については、感染拡大防止策を万全にした公共施設として適正な施設運営を行う。特に、令和3年度から指定管理者が変更となる指定管理施設については、利用者の利便性に影響のないように指定管理者との意見交換を行う。</p>